

海域ワーキンググループの経過報告・今後の予定

1 令和6年度（2024年度）海域WGの開催状況

令和6年（2024年）8月23日（金） 第1回海域ワーキンググループ開催（羅臼町）

令和7年（2025年）2月17日（月） 第2回海域ワーキンググループ開催（札幌市）

2 第2回海域ワーキンググループの主な議事内容

（1）長期モニタリング項目評価調書（案）について

第2期長期モニタリング計画における海域ワーキンググループ担当項目について、調書の記載内容の検討及び最新データに基づく評価を行った。

今後、漁獲が増える可能性のあるクロマグロについて、現在は漁獲ゼロとなっているが、これは現在漁獲可能量の配分がなく水揚げできないためであり、今後漁獲可能量が配分されることも想定されることから、引き続き報告書に魚種名を掲載することとした。

定期報告書については、知床データセンター等において公開する予定。

（2）世界自然遺産委員会決議に係る対応について

第45回世界自然遺産委員会決議で指摘のあったトドの採捕数や海鳥の減少に関する事項について、海域ワーキンググループを中心に検討を行った回答案を、令和6年12月に日本政府から「保全状況報告」としてユネスコ世界遺産センターへ提出したことを報告した。

（3）気候変動に対する順応的管理戦略について

第45回世界自然遺産委員会決議で指摘のあった気候変動によるOUVへの影響を最小化するための順応的管理戦略について、各ワーキンググループで検討を行った回答案を、令和6年12月に日本政府から「保全状況報告」としてユネスコ世界遺産センターへ提出したことを報告した。

（4）その他

知床岬地区における携帯電話基地局整備に関する経過（概要）の報告を行った。

3 令和7年度海域WGに関する今後の予定

令和7年度は2回程度の開催を予定。

・第1回WG：令和7年（2025年）7月頃（斜里町内を予定）

・第2回WG：令和8年（2026年）2月頃（札幌市内を予定）